

## 会議録

- 1 附属機関の名称  
犬山市総合計画審議会
- 2 開催日時  
令和3年5月24日（月） 午後7時00分から午後8時00分まで
- 3 開催場所  
ビデオ会議
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 岡村 千里、ピアンキ アンソニー、奥村 哲司、松浦 英幸、丹羽 良仁、増田 修治、田村 奈々、森好 佐和子、鈴木 誠、中山 恵子、本巢 芽美、水内 智英、鈴木 温、間中 麻耶、目黒 優衣
  - (2) 執行機関 山田市長、鈴木経営部長、井出企画広報課長、高橋企画広報課長補佐、小枝企画広報課統括主査、村瀬企画広報課主査、倉知企画広報課主査
- 5 議題  
・第6次犬山市総合計画の策定について
- 6 傍聴人の数  
1人
- 7 内容  
(1) 開会

事務局（井出）	<p>定刻前ではありますが、皆さまお揃いになりましたので、ただ今より「令和3年度 第1回 犬山市総合計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。会議の進行は企画広報課の井出が務めさせていただきます。本日は、昨今の新型コロナウイルスの状況や、議事内容等を踏まえて、オンラインでの会議とさせていただきました。不慣れな部分もございますが、円滑な進行にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>この「犬山市総合計画審議会」は、「犬山市総合計画審議会設置条例」第2条に基づき、総合的な計画に関し、市長の諮問に応じて必要な調査審議を行うために設置されたものです。</p> <p>本会議は「犬山市附属機関等の設置及び運営に関するガイドライン」に基づき、会議録を公開させていただきます。また、傍聴も可能となっており、本日は市役所204会議室で映像と音声を流していますので、ご承知おきください。会議録作成のため、ボイスレコーダーによる録音に加え、Zoomの映像を録画させていただきますので、この点につきましても予めご承知おきください。</p> <p>それでは始めに、犬山市長 山田拓郎より、ごあいさつ申し上げます。</p>
---------	---

## (2) あいさつ

市長	<p>皆さま、こんばんは。</p> <p>総合計画審議会の委員をお務めいただき皆さま、今日からよろしくお願いいたします。このような会議に初めて出席されるという人もいます。大雑把に言えば、「犬山をこんな方向でまちづくりを進めていきたい」という方向性を基本計画という形で策定をして、それに基づいて個別の施策というものがぶら下がってくる。その大きな方向性を決めていく。これは、第5次総合計画までありますけれど、一定の期間で計画を策定して、ずっとまちづくりを進めていくということです。ただ、私が強く感じるのことは、今、時代の流れが速いです。10年ひと昔どころではありません。もう一年ひと昔です。一年経ったらいろんなことが変わっています。</p> <p>この総合計画のあり方そのものも、基本的には第5次は12年という計画の期間でしたが、中間見直しをしました。そういった柔軟な軌道修正を、しっかりとやっていかないと、時代の変化に対応していきません。そういう観点も含めて、今回の計画策定においては少し頭においていただきながら、あまり「計画」という固い発想ではなく、「犬山がこんなまちになるとみんなが楽しくなるな、みんなが豊かになるな、新しい価値が生まれるな」と、そういう気楽な視点で、皆さまからいろんな意見をいただきたいと思います。最終的にはそれを計画としてまとめていきますけれど、ぜひ皆さまには、いろんな立場から良い意見が出ることを期待しておりますので、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
----	---

## (3) 委員委嘱

事務局（井出）	<p>それでは、お手元の「次第」に従って、会議を進めてまいります。</p> <p>概ね1時間程度、午後8時までに終了させていただき予定です。</p> <p>続きまして、委員委嘱です。</p> <p>委嘱状につきましては、市長から直接お渡しさせていただくのが本来ではございますが、今回はオンライン実施となったため、事前に送付させていただいています。ご確認ください。</p> <p>本日より2年間、犬山市総合計画審議会委員として委嘱させていただきます。</p> <p>皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日は、委員総数15名の内、出席15名、欠席0名となっています。委員の過半数が出席されていますので、「犬山市総合計画審議会設置条例」第6条第2項に基づき、本会は成立いたしましたことをご報告させていただきます。</p>
---------	---

## (4) 自己紹介

事務局（井出）	<p>委員自己紹介に移らせていただきます。</p> <p>本日初めて顔を合わせる方もいらっしゃるかと思いますので、お一人ずつ、1～2分で簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。</p> <p>順番は、名簿の上からお願いいたします。</p>
岡村委員	<p>皆さん、こんばんは。市議会議員の岡村千里です。</p> <p>市議会議員になってから10年が経ちました。これまでは子育て支援ですとか、医療、介護関係を頑張ってきましたが、はじめてこのようなまちづくりの会議に参加させていただきます。</p> <p>女性議員は犬山市では2人だけですけれど、この会には若い方、女性の方もたくさんいらっしゃいますので、皆さんの意見を聞きながら頑張っていきたいと思って</p>

	<p>います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
ピアンキ委員	<p>みなさん、こんばんは。ピアンキです。今、私は5期目ですけれど、初めてこの会議に参加させていただきます。私は前期の最後の2年で議長をやらせていただきました。その時に一番一生懸命にやったのは、市民参加です。市民フリースピーチ制度などいろいろ設置させていただきました。今回、みなさんと一緒にこの会議でいろいろな議論ができることを楽しみにしています。</p> <p>よろしくお願います。</p>
奥村委員	<p>みなさん、こんばんは。私は愛知北農業協同組合の理事をしております奥村と申します。犬山市から、農協へ推薦の依頼がありまして、犬山地区出身の理事ということあって委員に選任させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私、退職後、第二の人生を健康で楽しく過ごそうとそのように思っております、毎日、田畑の仕事をやりながら、ときにウォーキングをしながら、現役時代から興味を抱いていた歴史文化を再度学ぼうと、現在、放送大学に入学しています。特に古代の遺跡にはまっていて、犬山の東之宮にも何度かお邪魔をしています。遺跡巡りを楽しんでいたら、新型コロナウイルスが蔓延してきて、自粛している毎日です。自分の住んでいる犬山のまちの歴史や文化についても知りたいと思ひまして、いろいろ会に入って学ばせていただいております。一昨日の22日土曜日には、市長さんと一緒に犬山歴史研究会で、「尾張名所図会に描かれた近世の犬山」を勉強させていただきました。そんな趣味を持っておりますので、歴史と文化について少しは語れるかなと、事前打ち合わせのときに話をしたら「それも良いけれど、農業のことも話をしてください。」と言われましたので、勉強をしながら頑張っていきたいと思ひます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
松浦委員	<p>みなさん、こんばんは。犬山市社会福祉協議会の会長をさせていただいております松浦です。よろしくお願います。私、第5次の見直しのタイミングで会議に参加させていただきましたので、「慣れている」とまでは言いませんけれど、少し様子が分かっています。それを踏まえて、6次の委員にご指名いただきましたので、一生懸命、務めていきたいと思ひています。冒頭、市長さんから「固く考えることなく、楽しいまち、みんなが参加できるまち」、そういった視点でという話がありました。自分なりの言葉で、自分の感性で意見を言わせていただければ、参加させていただいている意味もあるのかなというふうには思ひています。いろんな方、他種多様、多彩な、そしていろいろな経験をされている方がいらっしゃいますので、みなさんの言葉から自分も吸収できるように、そしてそれが地域や犬山に反映されていくような、そんな時間にしていききたいと思ひおもいますので、よろしくお願います。</p>
丹羽委員	<p>みなさん、はじめまして。私は犬山商工会議所より命じられて委員となりました、株式会社今仙電機製作所の丹羽と申します。商工会議所はもう一年半ほど経験しましたが、まだまだ未熟者です。今、こういったコロナ禍で、犬山市も感染者が増えている中、地域や個人の事業主の方々に、振興や福祉のサービスなどを提供しています。この度、こういった大役を任せられ、責任の重さを痛感しているところです。先ほど市長からもお話がありましたが、皆さまとともに市の創生と発展について精一杯頑張りたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。</p>
増田委員	<p>みなさま、こんばんは。私は一般社団法人犬山青年会議所にて副理事長をさせていただきます増田修治と申します。どうぞよろしくお願いいたします。一般</p>

	<p>社団法人犬山青年会議所がどういったものかご存じない方もいると思いますので、簡単に説明をさせていただきますと、地元犬山で、40歳までの地元の経営者、若手の実業家等が集まってできている団体です。この団体では犬山市を良くしようということを前提としていろいろな活動をさせていただいているのですが、地元の祭りの協賛であったりといった形で犬山市に協力できることをしていきたいということで活動している団体です。</p> <p>私個人といたしましては、実家が和菓子屋をやっています。地元、犬山に根付いた商売をしています。大学は建築学科でしたので、こういった都市計画だとかには昔から興味がありますので、少しでも犬山市の未来にご協力できればと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
田村委員	<p>みなさん、こんばんは。田村奈々と申します。私は、犬山二十歳の集い応援団という団体、二十歳の集いというものは成人式のことなのですが、犬山市は成人式、二十歳の集いを実行委員みんなで手づくりでやっています。コロナのことであったり、今までずっと会場として使っていた名鉄犬山ホテルが変わるということで、次の成人式に向けて頑張っ、どのように動こうかを、実行委員と実行委員を終えた後に活動をしている私たち応援団とが一緒になって考えているところです。</p> <p>今回、応援団から私が選ばれました。皆さんと一緒に、私も初めてなので、分からないことだらけかもしれませんが、教えてもらいながらなんとか頑張っていきたいと思います。普段は名古屋で会社員をやっていますので、もしかしたら会議に時間通りに参加できないかもしれませんが、なるべく参加できるように頑張ります。よろしく願いいたします。</p>
森好委員	<p>みなさん、こんばんは。特定非営利活動法人「にこっと」の代表をしております森好佐和子と申します。よろしく願いします。本日は自宅から参加しています。画像が止まることがあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。</p> <p>私自身は、生まれも育ちも犬山で、途中、主人の転勤で九州へ行き犬山と離れるときがあつて、その時に改めて「犬山っていいな、あつたかいな」と思うきっかけにもなりました。</p> <p>「にこっと」という団体は、「子育てと女性の活躍応援事業」というところから生まれた市民活動グループです。それが今年の2月4日に法人登記を終えたばかりの、ひよっこのような、赤ちゃんのような団体ですけれど、本当に多岐にわたる方が集まってきていて、代表をしている私が言うのも何なのですが、なんでもできそうな人が集まっている、とっても楽しい、頼もしい仲間が集まっている団体です。ぜひ皆さんと一緒に関わることができたらなと思っています。そして、この団体は、「はじめのいっぽを応援する」というキャッチコピーで動いています。皆さん小さな一歩から動いています。この場が私にとって、とても大きなはじめの一歩ということで、代表の私自身もはじめの一歩をチャレンジして、頑張っ、皆さんと一緒に対話を進めていけたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
鈴木(誠)委員	<p>みなさん、こんばんは。愛知大学地域政策学部教授の鈴木誠と申します。愛知大学は、名古屋の笹島と車道、それから豊橋にキャンパスがあります。私、今は豊橋から参加しています。三河湾が見える大変風光明媚な8階にある研究室、そこから西の犬山市の方を見させていただいています。私は大学で地域連携にかかる大学全体の責任者をやりながら、いろいろな自治体や企業との連携に非常に多くかかわっています。そういう経験をわずかですけれど持ちながら、第5次総合計画の策定にもかかわらせていただきました。犬山は、私、大学の硬式野球部とサッカー部の部</p>

	<p>長をやっている関係で、名古屋経済大学のグラウンドをお貸しいただいて大変お世話になっています。また、学生がケガをすると、犬山市内の病院に救急車で運ばれます。そんな時も、犬山の皆さんにお世話になっています。普段、お世話になりっぱなしですので、改めて気を引き締めて、この第6次総合計画の策定に一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。</p>
中山委員	<p>はじめまして、中山です。中京大学の経済学部にて勤めております。私事で恐縮ですが、幼い頃は名古屋に住んでいて、ぜんそくがひどかったため、「犬山が良いだろう」ということで、犬山に引っ越してまいりました。犬山南小学校にて数年間通ってました。そうしましたら、ありがたいことにぜんそくが治りましたので、中学からは名古屋に出てしまったのですが、10数年前までは犬山にいました。今は大学の近くに住んでいます。そんなことから、犬山とはあまりかかわりなく過ごしてきたのですが、このお話をいただいたときには非常に驚きましたが、それよりも驚いたことは、銀行からのご紹介ということでしたが、事務局が事前に私のゼミの卒業生や先輩、あらゆる情報を調べて話を持ってきたので、素晴らしい情報力だと思ひました。さぞかしこういう計画の策定にも有意義ではないかなと思ひています。</p> <p>また、奥村委員が放送大学に行っていらっしゃるといふ話でしたが、私も数年前まで兼任してましたので、非常に懐かしく思ひています。今後、どうなるのか分かりませんが、できるだけことはさせていただこうと思ひておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p>
本巢委員	<p>名古屋経済大学の本巢芽美と申します。初めてお会いする方がほとんどかと思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。私は風力発電を建てるときに地域社会に生じる問題について研究をしています。大学では再生可能エネルギーの研究をしているということ、SDGsの担当教員として、地域との連携など、エネルギー以外にもSDGsに関わることを勉強しながらやっているとこです。</p> <p>犬山市との関連ですと、今の大学にきて3年目になりますが、その間に犬山市の森林愛護会であったり、再生可能エネルギーの勉強会などの市民の勉強会がありますと、そこに参加させていただきながら、犬山市の環境だったり多彩な取組にご一緒しています。私自身は生まれが埼玉県なのですが、育ちは東北の宮城県、そのあとに大学で東京に出て、8年くらい前に愛知県にきました。犬山も勤務先ということ、3年目にかかっているのですが、そこまで詳しくなくて、今回これに選んでいただいたことで、犬山市についてもっと知りたいなということと、都市計画やまちづくりについて具体的にかかわるのは今回が初めてですので、いろいろ勉強させていただきながら、エネルギーに関して学識経験者として何かコメントできればよいなと思ひています。</p> <p>それと同時に3歳と5歳の子供がおりますので、学識経験者としての立場ではなく、子育て世代がどういふふうに住らやすくなるか、そういった世代がどういふふうに住らやすくなるかといった視点からも考えていきたいと思ひております。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
水内委員	<p>みなさん、こんばんは。名古屋芸術大学デザイン領域准教授の水内と申します。アート&amp;デザインセンターのセンター長も務めています。専門はデザインなんですけれども、ソーシャルデザインと呼ばれるような、デザインの社会的な機能に着目した研究をやっております。利用研究やプロジェクトベースでいろいろなデザイン</p>

	<p>のプロジェクトも手掛けながら活動しています。その中でも、特に参加型デザインと呼ばれるような、市民の創造性をまちづくりに活かしていく、コミュニティづくりに活かしていくようなことも主眼に行っておりますので、そういった観点から微力ですが、尽力できればと思っております。第5次の計画以降、お世話になっておりまして、犬山市役所の方々には様々な場面でお世話になりっぱなしですので、本当に微力ですが、少しでも恩返しができるように尽力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
鈴木(温) 委員	<p>名城大学の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。私の専門は、都市計画とか、土木工学科出身だったので土木計画とかが専門です。特に研究として専門なのは、人々の立地選択、居住地選択の問題です。人口がこれからどう移動していくか、そういったシミュレーションモデルなんかも作ってまして、研究しています。特に最近の人口動向を見ていると、コロナの影響で、コロナの前後では全く状況が変わりました。コロナ前は、東京とか名古屋のような大都市に人口が移動して増えていたのですが、ポストコロナ、コロナ中は逆の現象で、大都市から人が出ているという状況になっています。どこに行っているかという、だいたい外側の郊外部に増えています。まさに犬山の立地というのは、ポストコロナの時代に人口が増える可能性があるところかなと思っております。</p> <p>それから最近、三重大大学の医学部の先生と連携して、健康になるまちというのはどういうまちなのか、ということも一緒に研究をし始めています。別の委員からもお話がありましたが、健康ということにも非常に犬山というところはポテンシャルのあるところだなと思っております。今まで犬山市とは、直接委員になったこととかはありませんでしたが、瀬戸市では、総合計画や都市マスなどをやってきましたので、そういった知見も犬山で活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
間中委員	<p>この度は一般からの公募ということで、選んでいただきありがとうございます。私は3姉妹(小1、小3、中1)を子育てしながら犬山に住まわせていただいています。今、非常勤として理学療法士としてデイサービスで働いていて、そのデイサービスを利用している人たちと地域の人を繋ぐコミュニティを細々と始めさせていたところだったりします。</p> <p>あと、ヨガインストラクターとしても活動してまして、地域のママやシニア向けに椅子ヨガを行ったりしています。昨年度、認知症についてのタウンミーティングで、認知症について何名かの方とお話をして、認知症のことについても地域で考えていきたいなと思っております。先ほどの森好さんが代表をしている、女性活躍と子育て応援チーム「にこっと」でもヨガインストラクターとしても、コーディネーターとしても活動しています。子育てをしている住民として、いろいろな立場の方たちの意見を聞きながら、まちづくりにかかわれることにものすごくワクワクしています。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
目黒委員	<p>こんばんは。公募で選んでいただきました、目黒優衣と申します。中京大学の2年生で、総合政策学部にも所属しております。大学では、公共政策に興味があって、公共政策に関するような授業を中心にとって勉強をしています。私自身この公共政策に興味があるので、委員に選んでいただいて大変光栄に思っています。この経験を通して、いろんなことを吸収して成長していきたいと思っております。先日二十歳</p>

	<p>になったばかりで、至らない点、未熟な点がたくさんあるとは思いますが、精いっぱい努めてまいりますので、2年間どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局（井出）	<p>委員の皆さま、ありがとうございました。 次に事務局の紹介をさせていただきます。 ～事務局紹介～</p>

#### （５）会長・副会長選任

事務局（井出）	<p>続きまして「犬山市総合計画審議会設置条例」第4条に基づき、会長及び副会長の選出をお願いします。条例上、会長及び副会長は委員の互選により決定することになっていますが、推薦により多数決という方法で選出させていただいてよろしいでしょうか。 よろしい場合は、大きく挙手をお願いいたします。</p>
出席委員	(挙手全員)
事務局（井出）	<p>ありがとうございます。 それでは、推薦により多数決といたしますが、どなたか推薦はございませんでしょうか。ございましたら、大きく挙手をお願いいたします。</p>
丹羽委員	はい。
事務局（井出）	丹羽委員、よろしくお願いいたします。
丹羽委員	<p>私は犬山商工会議所の丹羽と申します。令和2年まで総合計画審議会議員は商工会議所から現会頭の高橋が出席されておりました。私もこの度委員に就任する立場になりましたが、高橋会頭から話を伺ってきた内容では、今回の委員の中では、先ほど自己紹介にもありましたが、社会福祉協議会会長の松浦様、そして愛知大学の鈴木様、そして名古屋芸術大学の水内様が前回からの引き続きの委員にご就任いただいているというふうになっています。是非、前回委員になられた皆様のご経験を大きく活かしながら、この3名の方に会長、副会長をお願いできないかなと、ご提案を申し上げます。 鈴木様は前回会長を務められておりますので、鈴木様に会長をお願いして、松浦様と水内様には副会長をお願いしてはどうかということでご提案させていただきます。 よろしくお願いいたします。</p>
事務局（井出）	<p>ありがとうございます。ただ今、丹羽委員から「会長は、愛知大学の鈴木委員」、「副会長は、松浦委員と水内委員」とご推薦をいただきましたが、他に推薦はございますか。</p>
出席委員	(意見なし)
	<p>それでは、委員の皆さまにお諮りしたいと思います。 「会長は、愛知大学の鈴木誠委員」「副会長は、松浦委員と水内委員」との選任案に賛成の方は挙手をお願いします。</p>
出席委員	(挙手多数)
事務局（井出）	<p>ありがとうございました。 賛成多数により、「会長は、愛知大学の鈴木誠委員」「副会長は、松浦委員と水内委員」をお願いいたします。 ここで、会長・副会長から一言ずついただきたいと思います。それでは鈴木会長よろしくお願いいたします。</p>

鈴木会長	今、会長に推挙いただきました愛知大学の鈴木です。どうぞよろしくお願いたします。
事務局（井出）	では、次に松浦副会長、よろしくお願いたします。
松浦委員	はい。ただいま副会長にご選任いただきました松浦と申します。私も前回から継続の部分がございまして、鈴木会長先生とお付き合いをしております、大変素晴らしい会長だと思っています。そのお傍でお手伝いできるということが大変うれしく思いますので、重ねて皆さま方のご協力をお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。 よろしくお願いたします。
事務局（井出）	最後に水内副会長、よろしくお願いたします。
水内委員	はい。ご選任いただきました水内と申します。私よりも経験が豊富な方ばかりですので、甚だ不安な部分はありますけれども、この会がスムーズに進行していくようにサポートしていきたいと思しますので、よろしくお願いたします。
事務局（井出）	ここで会議録の署名者について確認させていただきます。 「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱」では、附属機関に会議録の作成と公開を義務付けており、会議録は附属機関の長が指定した者2人以上の署名を得る、としています。 会長にお伺いします。会議録への署名につきましては、どなたを指名されますか。
鈴木（誠）委員	はい。今、犬山市総合計画審議会の委員名簿を拝見しております。先ほど自己紹介が順番に行われました。大変慌ただしい中で、協力をいただかないといけませんので、会議録の署名は原則として、事前に配布された名簿の上から順番に2名ずつ交代でお願いしてくというのが自然かなと思います。そういう事もありまして、今回の署名者には、犬山市議会の岡村委員とビアンキ委員に是非お願したいと思いますが、いかがでしょうか。
事務局（井出）	ただいま会長から、岡村委員とビアンキ委員にという事がありました。よろしくお願いたします。 なお、会議録につきましては、署名者による内容確認を経て署名をいただいた後に公開するのが本来ではありますが、できるだけ早く情報を公開したいと考えておりますので、署名者による内容確認後、署名を待たず、市ホームページにて公開させていただきたいと考えておりますので、ご承知おきください。

## （6）諮問

事務局（井出）	次に、次第の6「諮問」に移ります。 「犬山市総合計画審議会設置条例」第2条に基づき、犬山市長 山田拓郎から、本審議会に対し、諮問させていただきます。 通常であれば、市長から会長に、直接お渡しするところではありますが、本日は市長による諮問書の読み上げのみとさせていただきます、諮問書は、後日、会長にお届けします。 それでは市長、よろしくお願いたします。
市長	読み上げる前に、先ほど挨拶のときに、大事なことを言い忘れました。少しだけ時間をいただいております。大々的に報道されたので、ご承知の方もあるかもしれませんが、犬山の名誉市民でもあった、京都大学の河合雅雄先生がお亡くなりになりました。河合先生は、ご承知のように、第4次



	<p>総合計画の会長をお務め頂いた方で、犬山にとっても、46年お住まいになられ、サル学の世界的な権威ということで、大変な大きな存在だったわけです。このまちづくりの議論をしていくには、時代の変化とともに変わっていかないといけない部分、時代がどう変化しようとも、変えてはいけない部分、その見極めをしっかりしながら、楽しいことを考えていくということだと思います。河合先生のと看きに、この犬山のまちづくりのイメージ「木曾の流れに古城が映え ふれあい豊かな もりのまち 犬山」。長いフレーズなのですが、頭にスッと入ってくる、この親しみ深いフレーズを作っていただいたことを我々としても踏まえながら、未来を見ていくということが大事ではないかと思ひましたので、諮問をする前に、このことを触れておきたいと思ひましたので、お時間をいただきました。</p> <p>では、諮問をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>「犬山市総合計画審議会会長様 犬山市長 山田拓郎 第6次犬山市総合計画について（諮問） 犬山市総合計画審議会設置条例第2条に基づき、第6次犬山市総合計画について、貴審議会の意見を求めます。」 以上、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局（井出）	<p>ありがとうございました。活発なご審議をよろしくお願ひいたします。市長はここで退席させていただきます。</p>
市長	<p>では、よろしくお願ひいたします。失礼します。</p>

#### （7）議事

事務局（井出）	<p>条例に基づき、この後の議事進行につきましては、鈴木会長、よろしくお願ひします。</p>
鈴木委員	<p>それではこれ以降は私が進行管理を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事にあります「第6次犬山市総合計画の策定について」、今日は最初ですので、まず事務局から委員の皆さんに説明させていただきます。では、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局（小枝）	<p>皆さま、こんばんは。『第6次犬山市総合計画の策定について』、ということで、小枝から説明させていただきます。</p> <p>一部につきましては、委員就任のお願ひの際にお伝えした内容と重複しますがご了承ください。事前にお配りした資料と、事前にお配りしております『第5次犬山市総合計画改訂版』をお手元においていただきながら説明をお聞きくださいますようよろしくお願ひいたします。</p> <p>資料を1枚めくっていただいて「策定体制」とあるページをご覧ください。</p> <p>資料の真ん中。上に赤丸で囲っているものが、この総合計画審議会です。その左には「諮問・答申」とあり、市長から当審議会への諮問は先ほど終わりました。皆さまには、この2か年で次の『犬山市総合計画』の策定についてご議論いただき、最後に市長に答申をしていただく形になります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>『総合計画』に、市民の意見を反映するための方法の一つとして、様々な立場の方に委員として審議会に参加していただいています。加えて、各種アンケート</p>

調査や訪問型インタビュー、地区別懇談会、等を通じて、市民の皆さまからの意見・提案を集め、この審議会の中でお示しし、議論の材料にさせていただく予定です。

次のページをお開きください。

こちらは『犬山市総合計画』の構成です。『第5次犬山市総合計画改訂版』の7頁をご覧ください。ここでは、『総合計画』の役割を3つ記載しています。一つ目は、「市の最上位計画であり、犬山市政の道しるべとなる“市政の羅針盤”」。二つ目は、「市民の参画と行政との協働による“まちづくりの行動指針”」。最後は、「計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理の基準”」。このように『総合計画』は、市にとって非常に重要な計画となっています。総合計画の中身は、と言いますと、基本構想、基本計画、実施計画の3層構成となっています。基本構想は、「犬山市がまちづくりを進める上で基軸におく考え方を示すもので、長期的な展望のもとで目指すまちの将来像を明らかにし、今後の市政運営の指針となるもの」とされています。事前にお配りしております『第5次総合計画改訂版』の16頁から26頁に記載されており、「まちづくりの考え方」や「10のまちづくり宣言」、「まちづくり達成指標」など、将来の犬山市がどうあるべきか、その方向性を記載したものとなっております。次の基本計画は、「基本構想で掲げたまちの将来像を実現するための具体的な施策の方針や事業内容を定めたもの」とされており、先ほどの冊子の27頁から204頁に記載されています。2頁に、赤丸をつけておりますが、次の総合計画について、本審議会でご議論いただきたい事項は、大きくは基本計画と基本構想の2つになります。最後の実施計画は、社会情勢の変化などを踏まえ、基本構想、基本計画に基づき重点的に推進する事業に関する計画を策定するもので、予算編成の指針となるものとなっております。柔軟に対応するため、市職員により毎年見直しを行うこととしていますので、冊子の中には記載せず、市HPで公開しています。

次のページへお進みください。こちらは、これまでの『犬山市総合計画』＝オレンジ色の矢印、と、『いいね！いぬやま総合戦略』＝緑色矢印、を表現したものとなっております。『総合計画』については、3段書きで、それぞれの名称、計画期間、将来像＝キャッチフレーズを記載しています。『総合戦略』は名称、計画期間の2段書きで記載しています。『総合計画』は1973年度の『第1次総合計画』から始まり、現在の『第5次総合計画（改訂版）』まで途切れることなく策定しており、間もなく『第5次総合計画（改訂版）』が終わりを迎えようというところで、一方で、『いいね！いぬやま総合戦略』は2015年度からはじまっています。これは、人口減少克服と地方創生＝地方を元気にしよう、という流れの中で、まち・ひと・しごと創生法により、策定が努力義務とされたものです。多くの自治体が『●●市まち・ひと・しごと創生総合戦略』という名称を用いていますが犬山市では皆さまに親しみやすく、「いいね！いぬやま総合戦略」という名前を付けています。そんな『総合戦略』ですが、人口減少と地域経済の対策に焦点をあてた計画となっており、第1期は2016年3月に策定しました。計画期間を遡ることが認められていたため、2016年3月に完成したものの、計画の開始は2015年度＝2015年4月からとなっております。『総合戦略』を策定した翌年度、2016年度には『第5次犬山市総合計画』の中間見直し＝改訂に着手しました。改訂にあたっては、前年度に策定した『総合戦略』と連動・連携するように進められ、できあがったものが、現在の『第5次犬山市総合計画（改訂版）』、となります。その後、『総合計

	<p>画』、『総合戦略』、そして『総合戦略』に基づき国の地方創生関係交付金を受けた事業につきましては、総合計画審議会において、毎年、進捗状況を確認していただき、皆さまの意見をいただきながら検証を図ってきました。このような経緯があったことから、令和元年度に行った『第2期総合戦略』こちらの策定では、総合計画審議会に諮問し、答申をいただきました。このように犬山市では『総合計画』と『総合戦略』については密接な関係があります。『総合計画』は犬山市のことがほぼ全て記載されています。『総合戦略』はその中から、人口減少と地域経済の縮小についてより深く具体的に取り上げたものとして位置づけています。実際、『総合計画』と『総合戦略』が一つの冊子となっている自治体も出てきています。第6次総合計画の内容によっては、『第2期総合戦略』につきましても一部改訂が必要となる場面もあるかもしれません。そのときには、この審議会でご報告させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次のページへお進みください。こちらは今後のスケジュールです。2ヶ年で策定するというので、非常にタイトなスケジュールとなっておりますが、次回及びその次の審議会の日程につきましては、6月17日（木）と7月29日（木）と決めさせていただきました。いずれも時間は19時からを予定しておりますが、新型コロナの関係で急遽変更する可能性もあります。改めて開催通知等を郵送させていただきますが、現時点のものとしてご予約いただきますようお願いいたします。次に、今後の審議会の内容について説明させていただきます。今年度6月から7月にかけては、現在の計画の検証とアンケート調査票について、ご意見をいただきたいと考えています。その後審議会は10月までお休みさせていただきます。その間、事務局では市民の皆さまからの意見・提案を集めてまいります。具体的にはアンケート調査、団体インタビュー、地区別懇談会の開催です。これらの結果又は中間報告を10月の審議会でお示しし、皆さまに『第6次総合計画』についてご議論いただくための材料にさせていただきたいと考えております。なお、新型コロナの状況によっては、インタビューや懇談会については延期あるいは別の方法を検討する必要があると考えているところです。今年の10月～来年3月にかけては、1か月半に一度くらい会議を開催し、基本構想の大枠、方向性を固めていきたいと考えております。令和4年度の5月からは基本計画をメインに議論しながら、基本構想を固めていき、10月あるいは11月までに『第6次犬山市総合計画素案』を完成させ、11月に答申をいただきたいと考えています。令和4年度につきましては仮称タウンミーティングを開催する月を除いて、5月から11月まで毎月審議会を開催する予定です。11月に本審議会から答申をいただいた後は、パブリックコメント、議会への上程を経て、新たな総合計画が完成する、というスケジュールとなっております。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>スケジュールにつきましては、事務局の案となります。これを基本として総合計画の策定を進めてよろしいかお伺いします。</p>
鈴木（誠）委員	<p>どうもありがとうございました。今後の総合計画の策定に向けて、スケジュールをはじめとして、そのスケジュールの中で取り込んでいく、基本的な事項の説明をいただきました。ただいまの事務局からの説明について、確認したいこと、ご意見等あれば、どのような事でも結構です。ご意見いただきたいと思っております。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか、皆さん。</p>

	<p>それでは、今のスケジュールで進めていくことについて、同意いただけたと理解したいと思えます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、そのスケジュールで進めていきたいと思えます。</p> <p>その他、事務局の方からスケジュールについて、何か追加することとかありませんでしょうか。どうでしょうか。よろしいですね。</p> <p>それでは、スケジュールについて、あくまで現時点での事柄にはなってきます。新型コロナウイルスの対応で市役所も大変慌ただしいものだと思っております。事務局も現場に出ていくということも多くなるだろうと思えます。あまり細かなところを決定事項にせず、柔軟に対応していくようにしたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議事については以上です。事務局に進行をお返ししたいと思います。</p> <p>では事務局、よろしく願いいたします。</p>
事務局（井出）	鈴木会長、ありがとうございました。

#### （7）その他

事務局（井出）	最後に、「7. その他」について、2点お伝えさせていただきます。
事務局（小枝）	<p>1点目ですけれど、先ほどもお伝えしました次回会議の日程です。次回の会議、6月17日（木）19時からとなりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>2点目ですけれど、皆さまにお伺いをしたいということがありまして、今回、このような形、オンラインで会議を始めて実施させていただきました。何か感想など伺えたらなと思っておりますが。何か感想やご意見がある方、挙手をお願いします。</p>
各委員	（意見なし）
事務局（小枝）	<p>この場ではなかなか発言しにくいということもあると思えますので、何かありましたら、後ほどメール等でも事務局へお知らせください。</p> <p>今後の会議については、できるだけ対面で、実施したいとは考えています。一方で、状況によっては今回のようにオンライン等で実施せざるを得ない場面が、今後も出てくるかと思えますので、そのような場合は会長とも相談しながら今後の実施方法を検討していきたいと思えます。不慣れたオンライン会議でご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。</p>

#### （9）閉会

事務局（井出）	それでは、最後に経営部長の鈴木より閉会の挨拶を申し上げます。
事務局（鈴木）	<p>皆さま、おつれさまでした。オンラインの会議ということで、事務局としてはかなりスムーズに進められたのではないかと考えているのですが、皆さまとの意思疎通がどのようにできたのかというのが不安ではありますので、また次回まで改善したい点があればまたお知らせいただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さんには今後2年、お力を貸していただくこととなりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
事務局（井出）	本日の会議はこれで閉会とさせていただきます。委員の皆さま、ありがとうございました。

	いました。皆さま、順次、ご退室ください。おつかれさまでした。
--	--------------------------------

＜ 閉 会 ＞	
---------	--